

科目名 (科目番号)	地域栄養 計画論実習 (092723)	教員名	野口祥子	学科等	保健栄養	選択	履修年次	4
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
				オフィスアワー			D305研究室	
授業概要	地域のニーズを把握するため、調査方法、データ収集、解析方法など調査データを用いた実習を行い、地域社会における健康・栄養問題に取り組むことのできる実践的能力を養う。課題解決のための手法について実践し、地域栄養計画の考え方と目的、栄養状態の判定と評価、栄養調査の種類と具体的な方法、公衆栄養計画と評価などについて学習する。							
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	オリエンテーション	到達目標: 地域栄養計画の目的と意義について理解する。 学習内容: 公衆栄養アセスメントのための情報源について学習する。					
	2	食物摂取状況等のデータ算出と解析 1	到達目標: 食物摂取状況等のデータ算出と解析について理解する。 学習内容: 度数分布、基本統計量、パーセンタイル値などについて学習する。					
	3	食物摂取状況等のデータ算出と解析 2	到達目標: 食物摂取状況等のデータ算出と解析について理解する。 学習内容: 有意差検定、分散分析などについて学習する。					
	4	食物摂取状況等のデータ算出と解析 3	到達目標: 食物摂取状況等のデータ算出と解析について理解する。 学習内容: エネルギー調整法について学習する。					
	5	栄養調査	到達目標: 食物摂取状況等のデータ算出と解析について理解する。 学習内容: 食物摂取頻度調査データの集計などについて学習する。					
	6	PCMによるテーマ作成	到達目標: PCMの概要について理解する。 学習内容: PCMについて学習する。					
	7	PCM関係者分析	到達目標: PCM手法関係者分析について理解する。 学習内容: PCM手法関係者分析について学習する。					
	8	PCM詳細分析	到達目標: PCM手法詳細分析について理解する。 学習内容: PCM手法詳細分析について学習する。					
	9	PCM問題分析	到達目標: PCM手法問題分析について理解する。 学習内容: PCM手法問題分析について学習する。					
	10	PCM目的分析	到達目標: PCM手法目的分析について理解する。 学習内容: PCM手法目的分析について学習する。					
	11	PCM代替案分析とプロジェクトの選択	到達目標: PCM手法代替案分析/プロジェクトの選択について理解する。 学習内容: PCM手法代替案分析/プロジェクトの選択について学習する。					
	12	PCMによるPDM作成	到達目標: PCM手法PDM作成について理解する。 学習内容: PCM手法PDM作成について学習する。					
	13	公衆栄養プログラム計画作成(1)	到達目標: 公衆栄養プログラムの内容について理解する。 学習内容: 公衆栄養プログラムについて学習する。					
	14	公衆栄養プログラム計画作成(2)	到達目標: 公衆栄養プログラム計画の実際のための媒体づくりを理解し、体験する。 学習内容: 公衆栄養プログラム計画の実際について学習する。					
15	発表会	到達目標: 公衆栄養プログラムを理解する。 学習内容: 各グループの発表を聞き、公衆栄養プログラムについて発表する。						
成績評価の方法・基準	課題提出50%、公衆栄養プログラム発表50%							
教科書	適宜配布します							
参考図書	公衆栄養学実習		井上浩一・川野因・本田榮子編著			建帛社		
教員からのメッセージ	第1～5回の授業ではパソコンを操作して課題作成に取り組み、作成した課題を提出してもらいます。データを保存するためのUSBメモリを持参してください。進行状況により教室や講義内容を変更することがあります。変更は授業内または掲示でお知らせしますのでよく確認してください。							